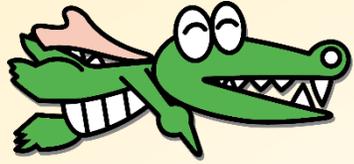


R5年度(2023年度)第1回豊中市健康福祉審議会資料 (報告・案件・その他)





報告

市民意識調査等からの地域福祉に関する 現状と課題について



地域福祉に関する課題から第5期地域福祉計画体系につながるイメージ案 ※当日資料無し

現行計画の振り返り等から
見えた地域福祉に関する課題

課題1
支援を必要とする人や複合的な課題を抱えている人が増加するなかで、確実に支援につながる入り口（相談機能）の充実が必要。

課題2
複雑化・複合化する課題に対しては、属性・年齢別・分野別の支援では対応しきれなくなっており、福祉分野と他分野が連携し、包括的、継続的に支援することが必要。

課題3
これまでの取り組みで培ってきた「市民力」、「地域力」をベースに、昨今の地域活動・市民活動等の状況や、市民ニーズをふまえ、さらなる市民参画と多様な主体の協働による支え手の確保や地域づくりが必要。

課題4
「地域包括ケアシステム・豊中モデル」を推進するための人材確保・育成が必要。

課題を解決することによる
5年後の豊中の姿

課題や不安を抱える人、特に複合的な課題を抱える人が地域で孤立せず、必要な相談機能につながる。

課題や不安を抱える人たちが必要な支援につながり、分野などに関係なく包括的、継続的な支援を受けることができる。

市民力・地域力の維持・向上により、すべての人が居場所、役割を持って活躍し、地域で安全に安心して暮らすことができる。

人材が育まれ、地域福祉を推進・強化することができる。

第5期地域福祉計画の基本理念をめざすための施策体系イメージ

3つの基本目標

取り組みの主な内容(下記全て重点施策)

基本目標1
包括的、継続的な
支援体制の整備

- 相談支援体制の強化
- 包括的支援体制の構築
- 成年後見制度の利用促進計画

基本目標2
安心・安全で活気
あふれる地域づくり

- 地域での多様な主体間のつながりの促進
- 平常時と災害時が連動した実効性ある避難支援体制の構築

基本目標3
地域福祉の
持続可能性の向上

- 人材確保・育成

豊中市の地域福祉を取り巻く現状と課題 その1

現 状

〈市民意識調査〉

- 男性（18～64歳）や単身世帯、何らかの支援等を受けている人では、孤独感のある人が多い傾向
- 何らかの支援を受けている人、孤独感がある人は、住み慣れた地域でも自分らしく暮らしていると思う人が少ない

〈既存アンケート調査〉

- 男女とも50歳代で孤独感が高く、健康状態が悪い・暮らし向きが苦しいほど、孤独感が強い
- この1か月にストレスによる心・体の不調があった人は4割以上増加

〈各種ヒアリング〉

- 身寄りがない・生活困窮状態の高齢者が増加し、日常生活での支援、住まいの確保が課題

〈統計データ〉

- 医療・介護の支援ニーズが高くなる85歳以上が人口比で増加
- 要介護認定者数、療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳の所持者数が増加
- 生活保護の被保護世帯数は7,500世帯前後、保護率は2.4～2.5%で推移
- 外国人人口及び世帯数は増加傾向
- 外国人・フリーランスの人からのコロナ特例貸付への相談が増加

〈市民意識調査〉

- 男性（18～64歳）や孤独感が常にある人は、相談しない（SOSを出せない）人が多い傾向にある
- 不安・課題を抱えていても、適切な相談窓口等を知らないというケースが比較的多い

〈既存アンケート調査〉

- 困った時に公的機関を利用する外国人市民は少ない。また、公的機関の相談窓口の認知率も低い
- 孤独感が強い人ほど、「相談しても無駄」「相談相手の負担になる」という人が多い
- 障害のある人は家族や日頃通う場所以外に相談する人が少なく、理由は「相談先がわからない」が多い

〈地域福祉ネットワーク会議〉

- 8050問題やひきこもり・不登校などは、潜在的な対象が多く、またプライバシーの問題等でアプローチが困難
- 地域でも外国人市民について認識はしているが、具体的なつながりは弱い

課 題

課題1

課題・不安を抱え、支援を必要とする人や生きづらさを感じる人などが増加

課題2

課題・不安を抱える人でSOSが出せず、**相談窓口・支援につながらない、つながりづらいケース**がある。特に、孤独感が強い人でその傾向が強くなっている。また、**SOSが出せないことなどにより地域で孤立**している

豊中市の地域福祉を取り巻く現状と課題 その2

現 状

〈市民意識調査〉

- 孤独感がある人、自身や同居家族が支援等を受けている人は、複数の悩み・不安を抱えている人が多い

〈各種ヒアリング〉

- 再犯防止に関する支援対象者では本人だけでなく、世帯全体の支援が必要なケースが多い
- 地域包括支援センターでは複合的な課題、支援困難なケースが増加し、相談対応の長期化等も課題

〈統計データ〉

- 地域包括支援センター、こども総合相談窓口、障害者基幹相談支援センター（令和4年度からは障害者相談支援センター）での相談件数は増加
- 相談窓口では、相談件数が増加傾向にあり、複合的な課題に関する相談が顕在化、常態化している

〈地域福祉ネットワーク会議〉

- 地域でも関係者・専門職が連携することで様々なケースに対応できるようになる

課 題

課題3

相談窓口・機関などでは相談件数が増加している。特に、**複合的な課題に関する相談が顕在化、常態化**している。

また、従来のような**分野別の相談支援体制では対応しきれなくなっており、多分野・多職種間の連携強化が必須**となっている。

豊中市の地域福祉を取り巻く現状と課題 その3

現 状

〈市民意識調査〉

- 住民同士の交流は減少
- 若年層で近所づきあいの希薄化
- 地域活動への参加率は減少傾向で、依然として高齢層が中心となっている
- 自治会加入率は若年層で低い。

〈既存アンケート調査〉

- コロナの影響で地域活動への参加が減った人は高齢者が多い

〈各種ヒアリング〉

- コロナ禍で地域活動を中止・縮小したことで、活動者のモチベーションが落ち、活動継続・再開が困難となっているケースがある

〈統計データ〉

- 自治会数・自治会加入率は減少傾向にある
- 老人クラブ会員数は減少傾向にある

〈市民意識調査〉

- 地域活動に「関心はあるが、参加する機会がない」という市民（関心層）が3割台半ばを占める。
- 関心層を地域活動につなげるためには、情報提供の充実、興味がある・気軽に参加できる活動の創出がポイント

〈地域福祉ネットワーク会議〉

- 定年後男性には定年前からのアプローチが必要。また、生産性、役割、社会貢献の要素が重要
- 定年後男性や外国人市民へのアプローチは地域での活躍につなぐことが重要

〈既存アンケート調査〉

- 外国人市民は地域貢献に関する活動への参加意向が比較的高い

〈統計データ〉

- 社協登録ボランティア数や有償ボランティア数は増加傾向
- とよなか地域ささえ愛ポイント事業の延登録者数は増加傾向
- とよなか夢基金の寄附件数・金額は増加傾向
- 市民公益活動団体数は増加傾向

課 題

課題4

地域活動などについては、依然として**担い手不足や活動者の高齢化などが大きな課題**となっている。また、コロナ禍などの影響により地域活動に参加する人が減少し、**地域活動が停滞**しているケースもある。

課題5

ボランティアや市民公益活動など参加者・団体数は増加傾向にある。また、地域での活動に関心・意欲のある市民など、**市民力・地域力の源泉となる多様な市民が一定数存在**するため、活動につなげる必要がある。

豊中市の地域福祉を取り巻く現状と課題 その4

現 状

〈市民意識調査〉

- 居場所がある人は4割程度、居場所を希望する人も3割を超える
- 孤独感が常にある人では居場所を希望する人が特に多い

〈既存アンケート調査〉

- 孤独感がある人で、孤独を「他者とつながり解消したい」と考えてる人が半数を占める
- 外国人市民で地域と付き合いがある人は6割程度に減少し、一方で地域の人たちと交流したい人は7割を超える

〈市民意識調査〉

- 現在住んでいる地域に愛着がある人や、現在住んでいる地域にこれからも住み続けたい人は7～8割程度を占めて多い
- 地域生活課題に対して住民も協力したり取り組むべきと考える市民も7割程度が多い
- その一方で、身近な地域で住民同士が助け合うための活動などに参加意向がある人は3割程度に留まる
- 災害時の安否活動や避難できない人の支援活動に参加意向がある人は3割程度

〈各種ヒアリング〉

- ケアマネジャーやヘルパーを中心に介護従事者の高齢化や人手不足が深刻
- 在宅医療・医療介護連携に取り組む医師が少ない
- 高齢化が進んでおり、また、担い手の確保が必要
- 地域包括支援センターでは業務多忙などにより、人材が確保・育成できない

課 題

課題6

孤独感が強い人を中心に、居場所やつながりへのニーズが高い。

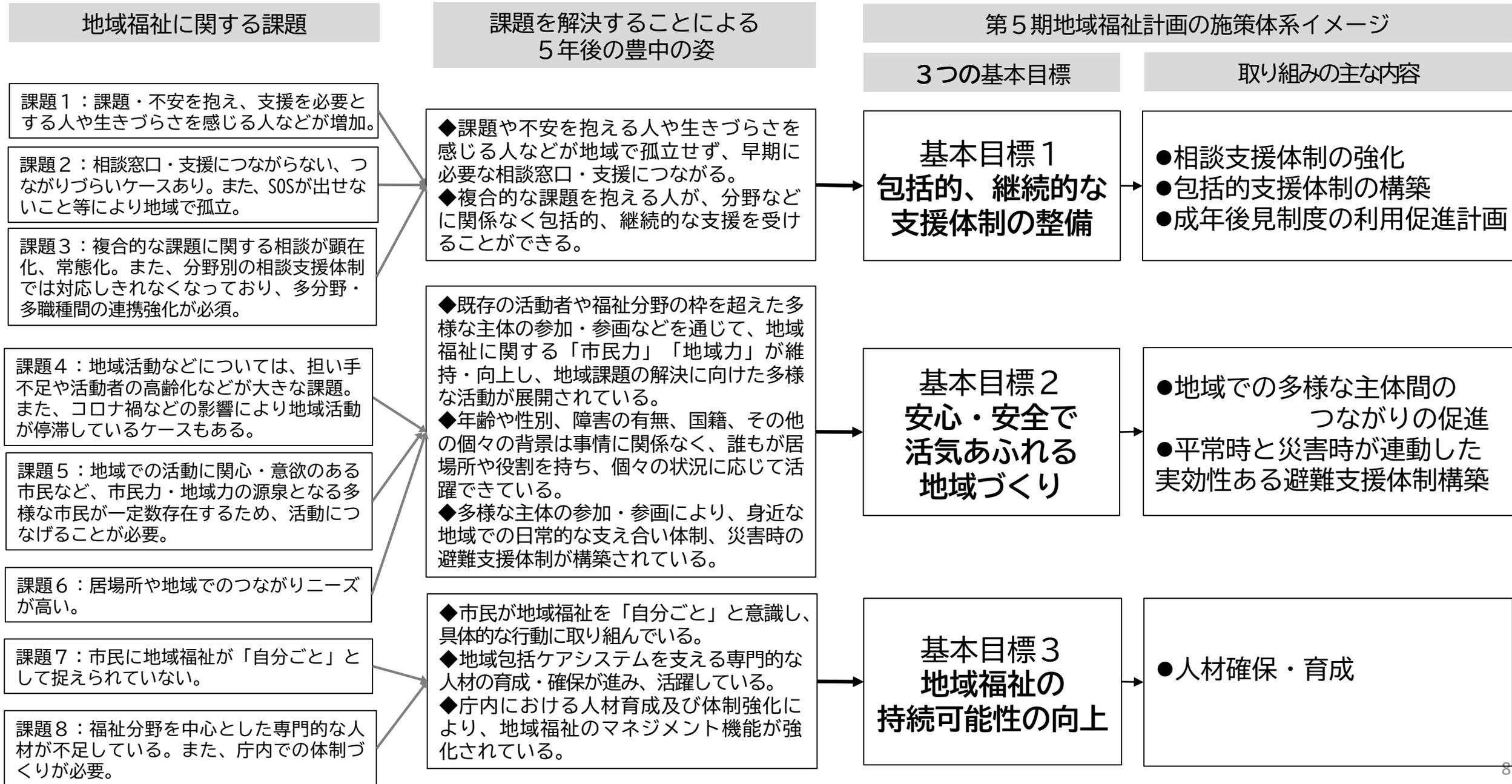
課題7

地域への愛着はあり、住民同士が助け合いなどが必要と考える市民は多いが、具体的な活動への参加意向・参加状況は十分とはいえず、地域福祉が「自分ごと」として捉えられていない。

課題8

福祉分野を中心とした専門的な人材の不足

地域福祉に関する課題から第5期地域福祉計画体系につながるイメージ案



基本目標

基本理念の実現に向けて、地域包括ケアシステム・豊中モデルを構築・強化するため、誰もが支援が必要になった場合、早期の「相談」から必要な「支援」、そして「地域での自分らしい暮らし」につながるよう、3つの基本目標を設定し、分野別・対象者別の概念を超えた取り組みを展開します。

基本目標 1 包括的、継続的な 相談支援体制の整備・強化

課題や不安を抱える人が、地域で孤立することなく、早期に必要な支援につながるよう、身近な地域での支援につながる環境・体制づくりに取り組みとともに、複合的な課題に対応する相談機能の充実や分野横断型の包括的支援体制の整備・強化などに取り組みます。

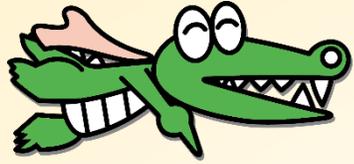
基本目標 2 安心・安全で活気あふれる 地域づくり

地域福祉に関する「市民力」「地域力」の維持・向上に向けて、地域課題の解決に向けた活動などに参加・参画しやすい環境・仕組みづくりや、地域での多様な主体のオープンなつながりづくりを進めます。
また、地域での多様な居場所づくりや社会参加、活躍の促進とともに、地域における支え合いなど、誰もが安心・安全に暮らしていける地域づくりに取り組みます。

基本目標 3 地域福祉の持続可能性の 向上

地域共生社会を実現するための地域包括ケアシステム・豊中モデルの構築・強化に向けて、専門的な人材の確保・育成とともに、庁内外における地域福祉のマネジメント機能の強化に取り組みます。

また、市民一人ひとりが主役となって地域福祉を推進していけるよう、地域や福祉、人権に対する正しい理解、認識・意識づくりに取り組みます。



案件(1)

『第5期豊中市地域福祉計画』の策定について



豊中市における地域共生社会の実現に向けた仕組みに関する現状・課題

地域共生社会

実現

地域包括ケアシステム・豊中モデル

実現

「豊中市地域包括ケアシステム推進基本方針」
豊中モデルを構築・推進するための取り組みとして
14の個別テーマを設定。

方針

実施

「第4期地域福祉計画」が中核的な役割を担い、
多世代・多分野に広がる取り組みを総合的に推進。

方針

実施

「個別計画」で14テーマに関連する取り組みを実施。

豊中モデルを深化・推進するための仕組み

「誰もが住み慣れた自宅や地域で自分らしく暮らせること」を実現し、そのことで、将来への安心と希望をつくり出し、一人ひとり・地域・まち・社会の全てが、明日への活力とともに未来を創造し続ける。

すべての人に対して、すべての人が支えるシステム
○分野別・対象者別の概念を超え、連携して支える体制
○誰もがその人なりのやり方で支え、必要な時に支えられる体制
○自助・互助・共助・公助のそれぞれでバランスよく支える体制

豊中モデルの深化・推進に関する現状・課題

- ①14の個別テーマの進捗管理のための仕組みがなく、豊中モデルの実現に向けた評価・検証ができない。
- ②「地域包括ケアシステム推進基本方針」の中核的に担う位置づけになっているが、14の個別テーマとの連動が明確ではなく、基本方針と個別計画をつなげていない。
- ③基本方針を踏まえた分野別・対象者別の概念を超えた具体的な取り組みが実施できていない。
- ④個別計画で個別テーマに関する取り組みをしっかりと実施しているが、基本方針との連動性があまり意識されていないため、分野別・対象者別の概念を超えた「つながり」が不足。
※個別計画で個別テーマをしっかりと実施すれば分野別・対象者別の概念を超え、連携して支える体制ができるという訳ではない…

豊中市における地域共生社会の実現に向けた「基本方針」の包含

地域共生社会の実現に向けた豊中モデルの深化・推進するために、

「地域福祉計画」に「豊中市地域包括ケアシステム推進基本方針」を包含し、実行性と実効性を担保。

【これまで(第4期計画期間)】

「地域共生社会」の実現

「地域包括ケアシステム・豊中モデル」の実現

「豊中市地域包括ケアシステム推進基本方針」
豊中モデルを構築・推進するための取り組みとして
14の個別テーマを設定。

方針

実施

「第4期地域福祉計画」が中核的な役割を担い、
多世代・多分野に広がる取り組みを総合的に推進。

方針

実施

「個別計画」で14テーマに関連する取り組みを実施。

【これから(第5期計画期間)】

「地域共生社会」の実現

「地域包括ケアシステム・豊中モデル」の実現

「第5期地域福祉計画」

「豊中市地域包括ケアシステム推進基本方針」を包含

14の個別テーマを再編し、基本目標と連動させる。

★上位計画として個別テーマを踏まえた方針を明確化

★分野別・対象者別の概念を超えた具体的な取り組みの設定

★個別計画とともにめざす目標・指標の設定

方針

実施

「個別計画」が個別テーマを意識しながら
関連する取り組みを実施。

基本方針の個別テーマの再編についての考え方（4つの視点）

①人口減少・少子高齢化社会における「支える人」「支えられる人」のバランスの課題

人口減少・少子高齢化社会の中で、2040年に向かって医療や福祉を必要とする人が増大していく。問題の根幹である人口動態自体は変えることが難しいが、身体的・社会的フレイルの状態から効果的な予防アプローチをすることで、健康寿命の延伸に繋げていく必要がある。

⇒ データと根拠に基づく各種予防事業の推進

②サービスの提供体制や内容の課題

これまでも、効率的・効果的なサービス提供にそれぞれの提供主体が努めてきたところだが、①で挙げた根本的な課題がある状況では、より効率性・有効性を高めるための連携体制を構築する必要がある。

また、従来の社会保障制度は充足していなかった外国人や女性の支援についても増加させていく必要がある。

⇒ 切れ目のないサービス提供体制の充実

③「複合的な困難を抱える人」の増加と「制度の狭間」の課題

複合的な困難を抱えた人、また「孤立」など制度の狭間にあるような困難を抱えた人の場合などについて、関係機関等が相互に連携・補完し合い、総合的な支援を行う必要がある。

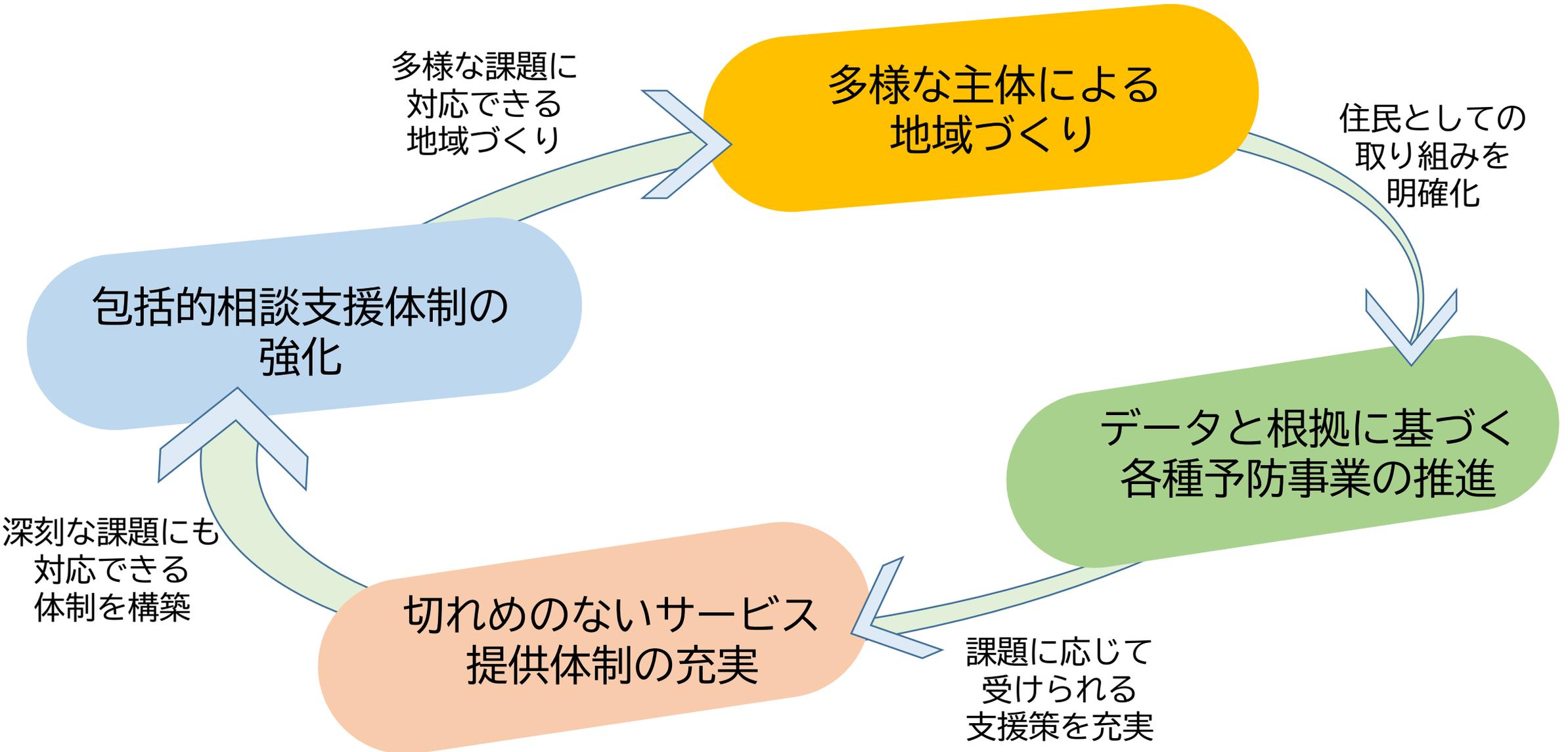
⇒ 包括的相談支援体制の強化

④「市民力」「地域力」の今後の課題

本市の財産である「市民力」「地域力」も、担い手の高齢化等に伴い、今後の持続的な活動について苦慮している現状がある。市民の意識変容への働きかけとともに、多様な主体による地域づくりを行う必要がある。

⇒ 多様な主体による地域づくり

個別テーマごとの関連性



基本方針の個別テーマの再編

【これまでの個別テーマ（14）】

介護予防について

認知症支援について

疾病予防と重度化予防について

ネットワークの強化と拡張について

人材確保について

介護について

地域医療について

相談支援とセーフティネットについて

権利擁護について

地域での支えあいについて

場づくり・機会づくり・基盤づくりについて

住まいとまちについて

市民の意識・行動への働きかけについて

就労と社会参加について

現状・課題を踏まえた再編

【これからの個別テーマ（4）】

データと根拠に基づく
各種予防事業の推進

切れ目のないサービス
提供体制の充実

包括的相談支援体制の
強化

多様な主体による
地域づくり

基本目標

基本理念の実現に向けて、地域包括ケアシステム・豊中モデルを構築・強化するため、誰もが支援が必要になった場合、早期の「相談」から必要な「支援」、そして「地域での自分らしい暮らし」につながるよう、3つの基本目標を設定し、分野別・対象者別の概念を超えた取り組みを展開します。

基本目標1 包括的、継続的な 相談支援体制の整備・強化

課題や不安を抱える人が、地域で孤立することなく、早期に必要な支援につながるよう、身近な地域での支援につながる環境・体制づくりに取り組みとともに、複合的な課題に対応する相談機能の充実や分野横断型の包括的支援体制の整備・強化などに取り組みます。

基本目標2 安心・安全で活気あふれる 地域づくり

地域福祉に関する「市民力」「地域力」の維持・向上に向けて、地域課題の解決に向けた活動などに参加・参画しやすい環境・仕組みづくりや、地域での多様な主体のオープンなつながりづくりを進めます。
また、地域での多様な居場所づくりや社会参加、活躍の促進とともに、地域における支え合いなど、誰もが安心・安全に暮らしていける地域づくりに取り組みます。

基本目標3 地域福祉の持続可能性の 向上

地域共生社会を実現するための地域包括ケアシステム・豊中モデルの構築・強化に向けて、専門的な人材の確保・育成とともに、庁内外における地域福祉のマネジメント機能の強化に取り組みます。

また、市民一人ひとりが主役となって地域福祉を推進していけるよう、地域や福祉、人権に対する正しい理解、認識・意識づくりに取り組みます。

地域福祉計画の体系

【第5期計画の基本目標】

包括的、継続的な
相談支援体制の
整備・強化

安心・安全で
活気あふれる地域づくり

地域福祉の
持続可能性の向上

【個別テーマ（4）】

包括的相談支援体制の
強化

切れ目のないサービス
提供体制の充実

データと根拠に基づく
各種予防事業の推進

多様な主体による
地域づくり

【想定される内容】

*地域福祉計画にはテーマごとの取り組み方針を記載

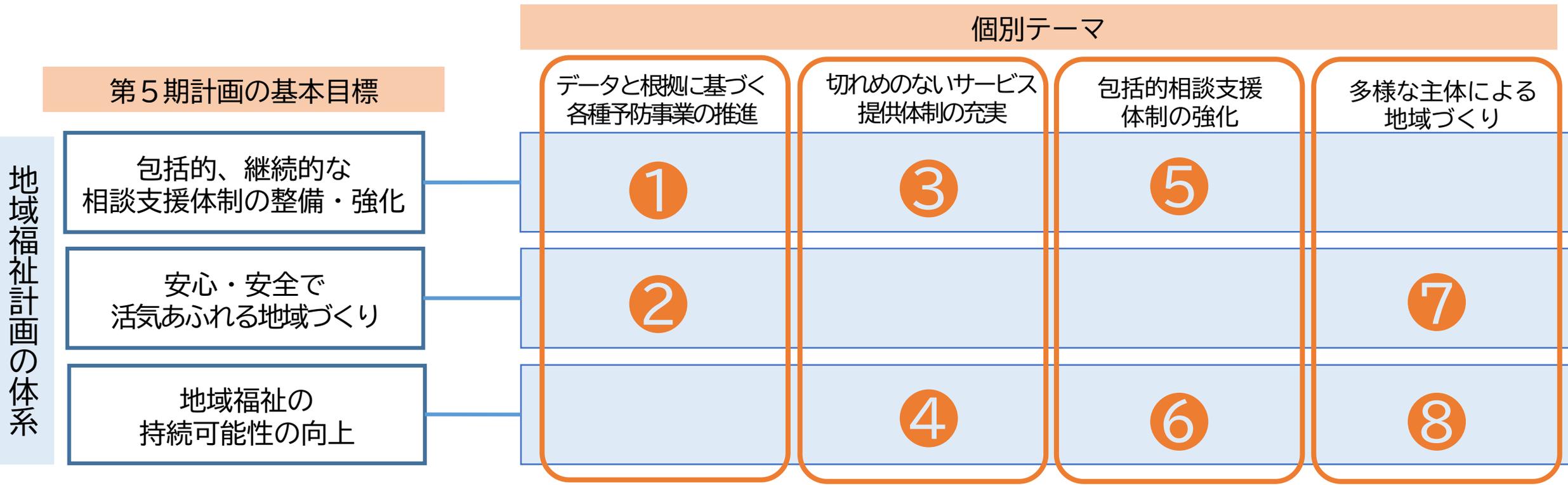
- ・多機関協働推進事業相談支援体制（重点）
- ・成年後見促進（重点）
- ・児童相談所
- ・はぐくみセンター

- ・医療と福祉の連携強化（重点）
- ・各種支援サービスの充実（こども、障害、高齢）
- ・社会福祉制度では充足していない外国人や女性への支援
- ・持続可能な制度にするための福祉人材の確保（重点）

- ・健康づくり関連
- ・介護予防
- ・認知症支援（重点）
- ・疾病予防

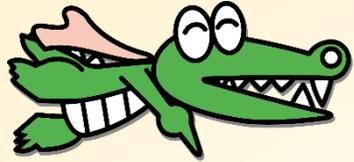
- ・テーマ型組織と地縁組織の連携支援
- ・多世代交流の場所づくり
- ・社会福祉法人等の社会貢献活動の促進
- ・地域での多様な主体間のつながりの促進（重点）
- ・平常時と災害時が連動した避難支援体制の構築（重点）

地域福祉計画の体系と個別テーマの関係



個別テーマで想定される内容（朱書きは重点の取り組み）

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
<ul style="list-style-type: none"> 健康づくり関連 介護予防 認知症支援 疾病予防 	<p>*①の再掲</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康づくり関連 介護予防 認知症支援 疾病予防 	<ul style="list-style-type: none"> 医療と福祉の連携強化 各種支援サービスの充実（こども、障害、高齢） 社会福祉制度では充足していない外国人や女性への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な制度にするための福祉人材の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 多機関連携での相談支援体制 成年後見促進 児童相談所 はぐくみセンター 	<ul style="list-style-type: none"> 包括的相談支援体制を支える人材育成 	<ul style="list-style-type: none"> テーマ型組織と地縁組織の連携支援 多世代交流の場所づくり 地域での多様な主体間のつながりの促進 平常時と災害時が連動した避難支援体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 社会福祉法人等の社会貢献活動の促進 市民の意識変容に対する働きかけ



案件(2)

『第5期豊中市地域福祉計画』の指標の考え方について





指標の考え方



	包括的相談支援体制の強化	切れ目のないサービス提供体制の充実	データと根拠に基づく各種予防事業の推進	多様な主体による地域づくり
基本政策	6.教育と福祉の連携	36.ICTを活用した見守りシステムの充実	39.健康づくりの充実	45.新たなコミュニティとつながりの創出
	9.児童相談所の設置	37.オンライン診療の促進	41.認知症とメンタルヘルス対策の充実	46.多世代交流のまちづくり
	10.児童虐待防止・いじめゼロの推進	7.子育てしやすい環境の充実	38.在宅医療と介護の連携促進	49.女性活躍・働き方改革の推進
	11.ヤングケアラーへの支援	12.子育て関連施設の連携強化	43.妊産婦支援の充実	58.多文化共生の推進
	47.生活困窮者支援の充実	13.子どもの居場所の充実		40.医療・福祉・介護人材の確保育成
		48.就労相談・支援の拡充		
計画指標 後期基本	1-3 こども総合相談窓口相談件数	1-3 子どもの社会参加事業数	2-2 健康寿命と平均寿命の差	2-1 地域福祉ネットワーク会議の参加団体数
	1-3 こども療育相談対応件数	1-3 若者支援総合相談窓口の新規相談件数	2-2 特定健診受診率	2-1 福祉施設から一般就労への移行者数
	2-1 多機関協働推進会議対応件数	1-3 子ども食堂や無料・低額の学習支援などの子どもの居場所がある小学校区数	2-2 かかりつけ医をもつ割合	4-1 国際交流センターの利用者数
	2-1 地域包括支援センターへの相談件数	2-1 就労支援プランの就労・増収達成率	2-2 在宅療養支援診療所数	



【参考】 指標の考え方



■基本政策とは…(以下、市HPより抜粋)

市長の掲げる 基本理念「未来につなぐまちづくり～「創る改革」とよなか 夢 みらい～」に基づき、任期中に取り組む政策を「基本政策」として取りまとめ、毎年度その進捗状況を評価・公表するもの

■後期基本計画指標とは… (以下、市HPより抜粋)

基本構想で掲げた「まちの将来像」を実現するための施策を示すものです。令和5年度(2023年度)から令和9年度(2027年度)の後期5年間において取り組む16施策とともに、各施策の事業のうち、特に重点的、総合的に取り組む事業を「リーディングプロジェクト」(右図)として位置付けています。

みらい創造都市 とよなか ^{あした}～明日がもっと楽しみなまち～

1 子ども・若者が夢や希望をもてるまちづくり

- 1-1 妊娠・出産・子育て支援の充実
- 1-2 教育環境の充実
- 1-3 子ども・若者への総合的な支援の充実

2 安全に安心して暮らせるまちづくり

- 2-1 住み慣れた地域で暮らし続けられるまちづくりの推進
- 2-2 保健・医療環境の充実
- 2-3 消防・救急救命体制の充実
- 2-4 災害に強く、犯罪を防ぎ、安全に暮らせる地域づくり

3 活力ある快適なまちづくり

- 3-1 環境意識の向上と快適なまちの環境の保全・創造
- 3-2 脱炭素・循環型社会の実現
- 3-3 安全で安心なまちの基盤づくり
- 3-4 だれもが住みやすい住環境の実現
- 3-5 産業振興の充実

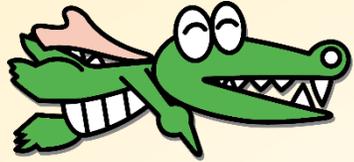
4 いきいきと心豊かに暮らせるまちづくり

- 4-1 共に生きる平和なまちづくり
- 4-2 学びと文化のあふれるまちづくり

5 施策推進に向けた取組み

- 5-1 情報共有・参画・協働に基づくまちづくり
- 5-2 持続可能な市政運営の推進

リーディングプロジェクト (南部地域活性化プロジェクト)



その他

第5期地域福祉計画策定スケジュール案について





第5期地域福祉計画策定スケジュール案について



会議体等	R5年 5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6年 1月	2月	3月
健康福祉 審議会	●第1回(5/30)			●第2回 (8/30) ・計画素案		●第3回 ・計画素案	●第4回 ・計画答申				
庁内の動き			■地域包括ケアシ ステム推進会議 (7/28) ・計画素案提示			■地域包括ケアシ ステム推進会議 ・計画素案提示			パブコメ	計画策定	計画印刷 計画配布